

せいの乳児院の窓から

第124号 2020年12月



マスクや手洗いなど新型コロナ対策のため普段より嚴重に感染症対策を行っているせいか、子どもたちは体調をくずすこともなく健康で元気に暮らしています。乳児院に病原菌を入れないようにと、職員は注意深く気を使っています。そんな中、子どもたちの屈託のない元気な表情や声は私たち大人をほっとさせてくれます。

例年ですと保護者やお客様を招待してクリスマス会を開くのですが、今年は職員と子どもたちだけでこじんまりと楽しみます。サンタさんはフィンランドからやってくるのですが、今年は来れません。乳児院にはサンタさんの補佐役のサンタさんがいるので、子どもたちへのプレゼントを代わりに届けます。保護者の皆さんには、子どもたち一人ひとりの様子を写真に残して、後日お知らせしたいと思います。

来年は新型コロナ禍が早く終息し、子どもたちが元気にお出かけできるようになってほしいですね。皆様が良いクリスマスとお正月を迎えられることをお祈りします。
(院長 中村秀人)

・いしかわ動物園・

9月14日、いしかわ動物園に行きました。コロナの影響で、久しぶりの園外行事でした。子ども達も大人もワクワクドキドキ！本物の動物達を見て、興味津々な子、怖がる子もいましたが「ぞうさん！おさるさん！」
「うさぎおったねー」と帰ってからも楽しそうにお話をしてくれました。その姿に大人もほっこりしました。



・味覚狩り・

10月14日、つばめ組年長児3人でさつま芋掘りに行きました。土の中からお芋が顔を見せるとビックリしていましたが、「うんとこしょ、どっこいしょ」とかいっぱいお芋を掘りました。

お部屋でさつま芋掘り製作を楽しんだり、持ち帰ったお芋で芋ごはんを作ってもらったり、自分たちでカレー作りをしたりと、みんなで美味しくいただきました。



・ハロウィン・

10月31日、子ども達はマントや帽子、カバンを身につけてハロウィンの仮装をしました。院内をまわって職員からたくさんお菓子をもらいました。自分たちで作ったクッキーもあり、かわいい形を見せ合いながら

美味しくいただきました。



・遠足・



10月16日、つばめ組年長児は大桑ぐるぐる公園へ、年少児は金沢市民芸術村へ遊びに行きました。年長児は大型遊具で思いっきり体を動かし遊び、年少児は芝生を走り回ったり、ボールを追い掛け遊びました。

おなかはペコペコ。お弁当を開けると、栗の形のおにぎりやきのこも入っていて、秋らしいお弁当を美味しくいただきました。



・七五三・



11月15日、つばめ組のTちゃんは、カトリック金沢教会にて神父様から祝福を受けました。これまでのお恵みに感謝し、これからも元気で過ごせるよう、みんなでお祈りしました。



・聖エリザベツお祝い会・



11月17日は乳児院の保護者である聖エリザベツのお祝い会でした。いつも玄関で子ども達のお出かけを温かな眼差しで見守って下さる聖エリザベツ像の前で讃える歌を歌い、一人ひとりお花をささげました。



ひとコマ



誕生会 (7月)



ハロウィンパーティー



エリザベツに献花

泣いたり笑ったり

かもめ組 Sくん（8か月）

ごはんが大好きな S くん。ごはんの時間になると、大きな口を開けてパクパクと上手にごはんを食べています。「上手だね!」と言うと、にっこり可愛い笑顔を見せてくれます。たくさん食べて、たくさん遊んですくすく大きくなりますように。

つばめ組 Aちゃん（2歳5か月）

ポポちゃんの人形遊びに夢中の A ちゃん。ポポちゃんをおんぶしながらおままごとをしたり、ポポちゃんに布団を掛けて寝かせたりして遊んでいます。手遊びも少しずつできるようになり、歌を口ずさみながら上手に身体を動かします。最近は、走ることが楽しくて「待て待て～」と追いかけると声を出して笑い、部屋の中を走り回ります。追いかけた後は、A ちゃんから近付いてきて、自ら逃げ、追いかけて欲しいことをアピールします。これからも色々なことに挑戦して楽しもうね!!

大人の思い -毎日をふり返って-

職員の「私の養育目標」11月のふり返りから、お伝えします。

「ひとりひとりの生命を尊重し、愛の精神に生きる」という理念、「子どもの健やかな成長と安定した家庭生活」を支援するという事業目標、「子どものところに寄り添いながら、子どもとの愛着関係を育む」という養育目標、それぞれに大切なことがうたわれています。毎日の養育で具体化できるように努めていますが、時に「うまくいかなかったなあ」と反省する日もあります。そんな私たちを受け入れてくれる子どもの表情を思い起こしながら、明日へとつなげていきたいと思えます。

- クッキー作りを何度かした。去年もクッキー作りを経験している子は教えなくても、手慣れた様子でできて、ちゃんと覚えているんだなーと感心した。食育の時間に、これからはたくさんさんの経験をしてほしいと思う。
- 会議の中で、他の職員の担当児とのかかわり方を聞いていて、自分は担当児がぐずるとすぐに声をかけすぎていた。泣きがひどくなる前に引いて、様子を見ることができたらと思った。他の職員の関り方を見て自分のかかわり方を見直すことが大切だと感じた。
- 年長児との関りが増え、言葉でのやり取りも楽しくなってきた。子どもの何気ない言葉を聞き逃さないようにして、気持ちに寄り添えるようにしたい。子どもたちのことはこれから悩むことも増えていくと思うので職員同士のコミュニケーションを大切にしたい。
- 哺乳の進みが悪い時、子どもが我を忘れたように泣き続け、なかなか泣き止まない時、揺らし方が大きくなってしまったことがあった。子どもの変化については、目に見えることもだが情緒面など目に見えないことにも気づけるようにしたい。





・転室もあり、年少児が落ち着いて過ごせるようにと考えることもあったり、体調不良の子に配慮したりと考えることが多かった。そんな姿からか担当児が私のひざを一人じめしたがったり、試し行動することも出てきた。不安にさせてしまったかと思ったので、普段の関りに気をつけたい。

・ぐずり方が苦手な子がいて、その子がぐずり始めるとイライラしてしまった。苦手だからこそ丁寧に関わろうと心がけてはいたが、強い口調で言葉がけをしてしまうことがあり、後から思い出して後悔することがあった。

乳児院改築 -建物と新事業-

改築工事は順調に進んでいます。外装工事は終了し、防護シートや工事の足場は外されました。現在、内装工事に取り掛かっています。壁クロスや、床の色柄、カーテンなどの選択も終わり、来年1月末に完成予定です。引っ越しは2月の第2週になる予定です。

前号で、小規模養育を実施するための設備として、2階の3ユニット（かもめ ひばり つばめ）についてお伝えしました。3階には、ショートステイ用のお部屋（すずめ）と親子生活訓練室（ひよこ）があります。

ひよこは、周産期からの母子（特に特定妊婦等）支援や、親子関係の再構築を目的に親子で宿泊して、生活の中で養育支援や育児指導を行うためのお部屋です。キッチンやお風呂トイレも個別に備えており、職員が親子の生活を直接支援できます。



2階バルコニーから一現在内装仕上げ工事中

2階右側はマリアルーム、左側はキッチン

3階右側はひよこ室（親子生活訓練室）

2020年9月1日から11月30日までに、寄付・寄贈にご協力いただいた方々のご紹介をさせていただきます。

【寄付金】

匿名の方から4件 傍島茂雄 卯野賢一 金沢法人女性部会

【寄付物品】

日本ベビーフード協議会 (株)モリサワ 金沢ソントクラブ めぐりんく
金沢法人女性部会



■編集・発行 聖霊乳児院

〒920-8551 石川県金沢市長町1丁目5番30号

TEL 076-223-2878 FAX 076-222-7589

<https://www.kanazawa-seirei.org/nyujiin/>